

会議録

会議の名称	平成30年度第2回 西東京市緑化審議会
開催日時	平成30年10月31日 14時00分から15時45分まで
開催場所	エコプラザ西東京 講座室1
出席者	委員:伊藤委員(会長)、飯田委員、村田委員、椎名委員、中尾委員、亀田委員、佐藤委員、池田委員、高橋委員、中村(賢)委員、横山委員、加納委員、梅原委員、田巻委員、中村(文)委員(欠席) 事務局:みどり環境部長 萱野、みどり公園課長 森下、みどり公園係長 安達、みどり公園係主任 高島
議 題	1 第1回緑化審議会会議録(案)について 2 下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全・活用について 3 その他
会議資料の名称	資料1 第1回緑化審議会会議録(案) 資料2 第1回審議会 活用等のための調査方法の意見まとめ 資料3 下保谷四丁目特別緑地保全地区活用検討事業一覧(庁内活用分)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>開会</u></p> <p>(会長)</p> <p>第2回西東京市緑化審議会を開催する。</p> <p>～事務局より資料の説明～</p> <p><u>1 第1回緑化審議会会議録(案)について</u></p> <p>～事務局にて資料1を説明～</p> <p>(会長)</p> <p>事務局から説明がありましたが、会議録についてご意見等ありますか。</p> <p>(委員)</p> <p>6ページ中段の「メリット」を「メリット」に、7ページ中段の「コーディネータ」を「コーディネーター」に修正する。</p> <p>(会長)</p> <p>その他、ご意見はありますか。ご指摘箇所の修正をもって承認することよろしいか。</p> <p>(委員)</p> <p>異議なし。</p>	

2 下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全・活用について

～事務局にて資料2を説明～

(会長)

前は、今年度、来年度の進め方について整理する必要があり、保全と活用の前に調査し、価値を評価しようという方向で意見をいただいた。

資料2の活用等のための調査方法についてご意見、ご質問等ありますか。

(委員)

資料2の意見概要No2にある「出張事業」を「出張授業」に修正する。

(委員)

担い手の議論も必要である。持続可能な仕組みづくりを検討すべき。

(会長)

平成 30 年度、31 年度で考えていかなければならないところであると考えている。調査を行い、地域に理解してもらうための担い手が必要。

(委員)

資料2の意見概要No15 で雑木林と屋敷林が記載されているが、市民に理解してもらうには、雑木林と屋敷林は区別しなければならない。

(会長)

屋敷林としての姿を見据えていかなければならない。本来の手を入れてある屋敷林の姿とは異なる現状から、管理しながら何を指すかがテーマであると考えている。

(委員)

資料2については、カテゴリーに分けるとわかりやすく明確になる。

(委員)

第1回の緑化審議会を受けて、歴史的、文化的な面からの資料をまとめたので、説明する場をいただきたい。

(会長)

説明いただいてよろしいか。

(委員)

異議なし。

(委員から当該地域の歴史的、文化的な背景について説明いただく。)

(会長)

以前、西東京市都市農業フォーラムにて都市と農業を考える際に使用した資料があるが、保全活用の調査を整理するあたり、参考になればと考え、今回その一部を説明させていただきたい。

(委員)

異議なし。

(会長から当該地域の土地と風土について説明いただく。)

(会長)

当該地域の歴史的、文化的な背景も含めたうえで、保全活用に関するご意見等いただきたい。

(委員)

当該地区の成り立ちと時期が同じく、西原自然公園も享保の新田開発当時の雑木林を求めることをコンセプトにして管理してきた。屋敷林のコンセプトにも繋がるのではないか。西原自然公園は、昨年、歴史的な雑木林の使い方を想像できるかたちになったとして、地域文化のフィールドミュージアムと呼んでいただいている。活動をとおして、雑木林の使い方がわかった点、管理することで生態系が回復する点を学んだ。屋敷林についてもテーマやストーリーを持って保全活用すれば、地域のミュージアムになり得るのではないか。

(会長)

屋敷林と文化的なテーマを繋げて物語をつくれると良い。

審議会では、方針、計画を立てて整備するだけではなくて、調査し、価値を見極めることが重要であることを基本に、今後の計画に広がりを持たせていけるようなかたちを目指したい。

他に、ご意見、ご質問等ありますか。

(委員)

敷地内に神仏はあるか。また、地域で講(コウ)はあるか。

(委員)

神仏については、以前はあったが、市の用地取得に伴い、お稲荷さんを今の住まいに移している。

講(コウ)については、今でもあり、講元もいる。

(委員)

南入経塚が消滅したとあったが、埋蔵文化財に該当していたか。また、調査は行ったか。

(委員)

埋蔵文化財として調査を行ったが、経典等は出てこなかった。通常より規模が大きいもので、境塚(村の境界)としての役割を果たしていたと考えられる。

(委員)

白子川を遡って人が移動(移住)してきたとのことだが、人の移動については、どこまで調査しているか。

(委員)

練馬の妙福寺(日蓮宗)に繋がりがあある。「あらかしき」の地名は大泉にも存在する。

(委員)

近世以前の「武蔵野(むさしの)の原風景」の絵があったが、出典はどこか。

(委員)

出典を失念したので、後日お伝えする。

(委員)

文化財の面からの保全については、他にも事例がある。独自性を考えると水に着目してはどうか。湧水が多い海拔50mラインよりも高いところに立地しており、水がなくなる場所の農業、屋敷林のあり方というのは独自性が高い。例えば、土壌(クロボク土)が根菜(大根)づくりに適する等の水と土壌に関する視点を文化、歴史に加えて、取り入れられると良いのではないか。

(委員)

文化、歴史の面だけではなく、自然としての価値や特徴を重ねていくことで、より独自性が広がると考えているので、今後の調査で検討できると検討できると良いのではないか。

(委員)

かつて行われていた、藍や沢庵の栽培、加工等は、周辺の他の家でも行っていたと思うので、周辺の家(屋敷林)も調査し、その中での位置づけや関連も調べる必要があるのではないか。

(委員)

新川が練馬区との境で蛇行しているのはなぜか。

(委員)

新川は部分的に人工になっており、用水として使用されていたためと考えられる。図面は現況なので、当時の状況については、別途、調査が必要と考えている。

(委員)

民族学博物館が練馬、杉並等ではなく、保谷につくられることになったのはなぜか。

(委員)

保谷に武蔵野の自然が残っていたことと、下保谷の豪農高橋文太郎が渋沢敬三の研究仲間であり、土地について寄付の申し出をしたため。民族学博物館を開設して、現在は、民間が土地を所有している。

(委員)

地区のコンテンツを考えると、民族学博物館の存在(計画の経緯)は、大きいのではないか。

(委員)

外部に向けて発信していく場として整備することも重要。

現在、周辺に点在している自然、歴史等を将来に活かしていけるフィールドミュージアム的なものの拠点にできると良い。

(会長)

どう残していくか、どう活かしていくか、それに伴い、重層的な価値を見出し、ストーリーをつくる必要がある。また、どんな人が担い手となるかという仕組みづくりが、まずは重要になってくると考えている。

様々なテーマが挙がっているが、できる人ができることを行い、屋敷林の可能性や魅力を地域にフィードバックできるような仕組みができると良い。

審議会では、今年度は、保全活用の進め方について整理し、パブリックコメントを行いたい。期間等も限られた中で進めていかなければならないので、少人数でワーキンググループを開催し、素案を作成後、審議会全体で確認するような流れで進めたいと考えている。詳細については事務局から説明をお願いします。

(事務局)

～ワーキンググループの進め方等について説明～

(会長)

ワーキンググループと今後の進め方について、承認いただけるか。

(委員)

異議なし。

(会長にて、会長を含む6名の委員を指名)

(委員)

異議なし。

3 その他

～事務局にて資料3を説明～

(会長)

ご意見、ご質問等ありますか。

(委員)

「人権の藍の花事業」について、藍の花と人権とはどのような関係があるのか。

「瞽女(ごぜ)」と西東京市はどのような関係があるのか。

(事務局)

資料は、庁内の意見をまとめたものであるため、個々の詳細は、今後、調整させていただきます。

(委員)

「瞽女(ごぜ)」との関係は、現在、上保谷(谷戸)の東禅寺にある石橋供養塔に「瞽女(ごぜ)」の名前が入っている点が挙げられる。

※次回は、1月24日(木)の午前10時からエコプラザ西東京にて開催する。

※ワーキンググループは、11月8日(木)の午前10時から下保谷四丁目特別緑地保全地区の母屋にて開催する。

4 閉会

(会長)

以上で、第2回西東京市緑化審議会を閉会する。